



2021年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月8日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7811 URL <http://www.npacks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉 功 TEL 06-6762-0431
 定時株主総会開催予定日 2021年5月25日 配当支払開始予定日 2021年5月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年2月期の連結業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	36,033	5.7	1,715	11.9	1,750	8.8	1,315	21.2
2020年2月期	34,100	0.5	1,533	△6.8	1,608	△4.5	1,085	△6.1

（注）包括利益 2021年2月期 1,438百万円（60.1%） 2020年2月期 898百万円（△2.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	160.99	—	10.5	5.9	4.8
2020年2月期	132.84	—	9.1	5.9	4.5

（参考）持分法投資損益 2021年2月期 2百万円 2020年2月期 8百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	31,784	14,222	40.9	1,590.02
2020年2月期	27,568	12,419	43.9	1,479.33

（参考）自己資本 2021年2月期 12,994百万円 2020年2月期 12,089百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	2,436	△1,728	477	3,707
2020年2月期	896	△1,166	△181	2,542

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00	457	42.2	3.9
2021年2月期	—	28.00	—	29.00	57.00	465	35.4	3.7
2022年2月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00		41.8	

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,600	8.4	855	9.0	877	8.6	576	△15.6	70.56
通期	38,000	5.5	1,857	8.2	1,900	8.6	1,133	△13.8	138.70

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）NAKAMOTO PACKS VIETNAM COMPANY LIMITED、除外 1社（社名）－
 （注）詳細は、添付資料P.12「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

- (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年2月期	8,173,320株	2020年2月期	8,173,320株
2021年2月期	1,067株	2020年2月期	1,028株
2021年2月期	8,172,276株	2020年2月期	8,172,298株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	28,439	0.3	995	△9.5	1,226	△10.0	835	△9.0
2020年2月期	28,344	0.5	1,099	△15.8	1,362	△11.7	918	△16.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	102.24	—
2020年2月期	112.40	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	27,511	12,174	44.3	1,489.73
2020年2月期	23,642	11,758	49.7	1,438.86

(参考) 自己資本 2021年2月期 12,174百万円 2020年2月期 11,758百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年4月15日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料については、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で推移いたしました。4月に発出された緊急事態宣言の解除後は経済活動が再開され、個人消費に持ち直しの兆しが見られたものの、11月以降は全国的に感染者数が増加し緊急事態宣言が再発出されるなど収束の見通しは立っておらず、先行きも当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況の下、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」をスローガンに、環境への負荷を低減できる開発製品の販売、製品の安定供給、生産効率・品質の向上に注力いたしました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は36,033百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は1,715百万円(同11.9%増)、経常利益は1,750百万円(同8.8%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,315百万円(同21.2%増)となりました。

製品用途別の経営成績は次のとおりであります。

(食品関連)

外出自粛・在宅勤務が拡大したことにより、来店客数に影響が出たコンビニエンスストアやデパ地下向け包材、外食向けの業務用包材は減少しましたが、中食や内食需要の高まりにより冷凍食品、乳製品、豆腐などのスーパーマーケット向け包材は1年を通して好調に推移しました。また、汎用性の高い持ち帰り用の容器・トレー向け商材も堅調であったことにより、売上高は23,775百万円(前年同期比3.8%増)となりました。利益については、関係会社を中心とした生産効率向上効果があったものの、行楽やイベント用の比較的高価格帯の容器・トレー向け商材の減少により利益率は低下し、売上総利益は2,542百万円(同1.6%減)となりました。

(IT・工業材関連)

電子部品製造用フィルムが5G関係や半導体の好調により増加、スマートフォン用途も新規案件の獲得等により堅調に推移しました。自動車内装材は減少しましたが、自動車生産が中国を中心に回復し始めたことにより、下半期よりやや持ち直しました。感染症対策で工場への入場制限により立会試作が減少した影響は残るものの量産化へ進む案件も出てきたほか、リピート品や自社開発品であるNSセパを中心とした生産効率の向上にも努めました。また、2019年9月に量産稼働を開始した埼玉第三工場も当連結会計年度で完全黒字化した結果、売上高は4,894百万円(前年同期比13.2%増)、売上総利益は1,350百万円(同27.2%増)となりました。

(生活資材関連)

新型コロナウイルス感染症の影響により4月から5月にかけてショッピングモール等の営業自粛による販売減少がありましたが、キッチン関連や、遮熱・断熱などエコ関連の新商材投入、新規取引先の増加により持ち直し、売上高は3,288百万円(前年同期比1.1%増)、売上総利益は1,079百万円(同8.6%増)となりました。

(医療・医薬関連)

貼付剤関連ではジェネリック医薬品用フィルムの受注数量は堅調に推移しましたが、単価下落や競争激化の影響を受け利益率が低下しました。また、病院関連で輸液関係包材が増加、新型コロナウイルス関連で防護服やフェイスシールドなどの加工を受託しましたが、立ち上げ初期のテスト費用等で利益率が低下した結果、売上高は1,568百万円(前年同期比14.0%増)、売上総利益は269百万円(同0.5%減)となりました。

(建材関連)

建材印刷の家具関連は低調でしたが、前年に導入した新型塗工機を使った機能性建材が順調に推移、立ち上げ当初と比べて生産効率も向上したことにより、売上高は1,668百万円(前年同期比10.6%増)、売上総利益は241百万円(同33.1%増)となりました。

(その他)

前年同期にあった機械販売の反動減がありましたが、連結子会社化した三国紙工株式会社の重包装関係が増加したことにより、売上高は837百万円(前年同期比15.4%増)、売上総利益は212百万円(同33.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,216百万円増加し、31,784百万円となりました。

流動資産につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により受取手形及び売掛金が504百万円、電子記録債権が335百万円、たな卸資産が485百万円それぞれ増加したことや、短期借入金の増加等により現金及び預金が1,164百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,434百万円増加し、16,823百万円となりました。

固定資産につきましては、生産能力増強を目的とした設備投資や持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により有形固定資産が1,585百万円増加したことや、投資その他の資産が169百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,782百万円増加し、14,961百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,414百万円増加し、17,562百万円となりました。

流動負債につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により支払手形及び買掛金が785百万円増加したことや、短期借入金が1,114百万円、1年内返済予定の長期借入金が261百万円、その他が618百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,828百万円増加し、14,975百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が381百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ414百万円減少し、2,586百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,802百万円増加し、14,222百万円となりました。これは、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により非支配株主持分が897百万円増加したことや、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が857百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ1,164百万円増加し、3,707百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、2,436百万円(前連結会計年度は、896百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前当期純利益1,832百万円、減価償却費1,053百万円、段階取得に係る差損99百万円及び仕入債務の増加額302百万円等による増加要因が、負ののれん発生益227百万円、売上債権の増加額194百万円、たな卸資産の増加額258百万円及び法人税等の支払額385百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、1,728百万円(前連結会計年度は、1,166百万円の減少)となりました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入72百万円等による増加要因が、生産加工設備等の有形固定資産の取得による支出1,541百万円等による減少要因を下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は、477百万円(前連結会計年度は、181百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の純増額1,123百万円及び長期借入れによる収入729百万円等による増加要因が、長期借入金の返済による支出849百万円及び配当金の支払額457百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症が経済活動に影響を与えると思われます。ワクチンの接種が開始されるものの収束時期は見通せず、経済の本格的な回復には時間を要するものと見られます。

このような状況の下、2022年2月期の連結業績見通しにつきましては、売上高38,000百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益1,857百万円(同8.2%増)、経常利益1,900百万円(同8.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,133百万円(同13.8%減)を見込んでおります(未確定外貨に係る、円の対元の為替レートの前提は1元15円40銭)。

食品関連においては、中食需要の増加に伴って汎用性の高いテイクアウト容器等は堅調に推移する一方で、新型コロナウイルス感染症の収束まではイベントの中止や規模縮小、外食や行楽の自粛などによる減少が見込まれます。ワクチンの接種状況にもよりますが、これらの影響が2021年末頃まで続くことと仮定しており、実際の収束時期によっては業績が変動する可能性があります。

I T・工業材関連においては、5G時代の到来やI o T・A Iの発展に伴う電子部品の需要増により当社グループの電子部品製造用フィルムを中心に堅調に推移すると見込まれますが、感染が再拡大し、需要の急激な減少やサプライチェーンに支障が生じた場合には業績が変動する可能性があります。

2022年2月期の連結全体の売上高、営業利益、経常利益は前年同期比で増加する見込みですが、2021年2月期において計上した三国紙工株式会社の連結子会社化による負ののれん発生益がなくなること等により、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となる見込みです。

また、2022年2月期の経営課題を引き続き「Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」といたしました。当社グループが今まで築き上げたノウハウをもとに、生産設備・環境設備をフルに活用し、国内はもとより、中国・米国における一層の市場開拓、事業の拡大を行います。また、開発製品の更なる拡販と品質管理に注力して顧客満足度の向上に努めると共に、企業としての社会的責任を果たし、ステークホルダーとの信頼関係を築き、持続的な企業価値の向上に努めていく所存でございます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の一層の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558,645	3,723,389
受取手形及び売掛金	7,459,399	7,963,960
電子記録債権	1,357,278	1,692,349
商品及び製品	1,756,580	1,998,233
仕掛品	357,538	367,224
原材料及び貯蔵品	605,369	839,592
その他	298,883	244,440
貸倒引当金	△4,539	△5,557
流動資産合計	14,389,156	16,823,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,485,812	5,932,018
機械装置及び運搬具(純額)	2,019,335	2,963,111
土地	2,928,210	3,140,388
リース資産(純額)	439,362	387,658
建設仮勘定	302,030	308,841
その他(純額)	219,310	247,261
有形固定資産合計	11,394,061	12,979,278
無形固定資産		
その他	339,088	366,847
無形固定資産合計	339,088	366,847
投資その他の資産		
投資有価証券	883,106	762,295
長期貸付金	11,195	9,013
繰延税金資産	208,370	234,949
その他	370,209	635,962
貸倒引当金	△27,145	△27,145
投資その他の資産合計	1,445,736	1,615,075
固定資産合計	13,178,886	14,961,201
資産合計	27,568,043	31,784,835

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,871,952	3,657,837
電子記録債務	3,625,117	3,622,878
短期借入金	3,711,360	4,826,012
1年内返済予定の長期借入金	777,462	1,038,827
リース債務	66,146	65,437
未払法人税等	207,975	250,750
賞与引当金	214,602	222,966
その他	672,298	1,291,191
流動負債合計	12,146,915	14,975,902
固定負債		
長期借入金	2,200,319	1,818,362
リース債務	397,634	341,565
繰延税金負債	27,096	31,772
退職給付に係る負債	176,610	230,172
その他	199,587	164,943
固定負債合計	3,001,248	2,586,816
負債合計	15,148,163	17,562,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,158,408	1,158,408
利益剰余金	9,502,455	10,360,425
自己株式	△1,039	△1,101
株主資本合計	11,717,292	12,575,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,517	139,478
繰延ヘッジ損益	3,305	△2,382
為替換算調整勘定	276,306	275,793
退職給付に係る調整累計額	△9,881	5,924
その他の包括利益累計額合計	372,247	418,812
非支配株主持分	330,339	1,228,103
純資産合計	12,419,879	14,222,116
負債純資産合計	27,568,043	31,784,835

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	34,100,257	36,033,596
売上原価	28,850,291	30,337,612
売上総利益	5,249,966	5,695,983
販売費及び一般管理費	3,716,331	3,980,002
営業利益	1,533,634	1,715,981
営業外収益		
受取利息	2,485	3,416
受取配当金	16,212	15,860
持分法による投資利益	8,663	2,373
受取地代家賃	27,986	29,363
受取保険金	6,901	10,603
その他	140,932	116,538
営業外収益合計	203,183	178,154
営業外費用		
支払利息	77,105	70,591
為替差損	23,206	36,434
その他	27,609	36,771
営業外費用合計	127,921	143,797
経常利益	1,608,895	1,750,338
特別利益		
固定資産売却益	—	449
投資有価証券売却益	2,963	4,921
負ののれん発生益	—	227,983
特別利益合計	2,963	233,355
特別損失		
固定資産売却損	105	104
固定資産除却損	21,394	52,042
投資有価証券評価損	24,874	—
段階取得に係る差損	—	99,206
特別損失合計	46,374	151,353
税金等調整前当期純利益	1,565,485	1,832,340
法人税、住民税及び事業税	438,241	428,423
法人税等調整額	31,689	15,559
法人税等合計	469,931	443,982
当期純利益	1,095,553	1,388,357
非支配株主に帰属する当期純利益	9,916	72,739
親会社株主に帰属する当期純利益	1,085,637	1,315,618

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	1,095,553	1,388,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,106	40,904
繰延ヘッジ損益	1,029	△7,976
為替換算調整勘定	△67,419	3,597
退職給付に係る調整額	△68,271	15,805
持分法適用会社に対する持分相当額	492	△2,377
その他の包括利益合計	△197,275	49,952
包括利益	898,277	1,438,310
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	899,119	1,362,183
非支配株主に係る包括利益	△841	76,126

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,057,468	1,158,408	8,878,553	△970	11,093,460
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△461,735	—	△461,735
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,085,637	—	1,085,637
自己株式の取得	—	—	—	△69	△69
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	623,901	△69	623,832
当期末残高	1,057,468	1,158,408	9,502,455	△1,039	11,717,292

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計
当期首残高	165,131	2,275	332,968	58,390	558,765
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△62,613	1,029	△56,661	△68,271	△186,517
当期変動額合計	△62,613	1,029	△56,661	△68,271	△186,517
当期末残高	102,517	3,305	276,306	△9,881	372,247

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	331,901	11,984,126
当期変動額		
剰余金の配当	—	△461,735
親会社株主に帰属する当期純利益	—	1,085,637
自己株式の取得	—	△69
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,561	△188,079
当期変動額合計	△1,561	435,752
当期末残高	330,339	12,419,879

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,057,468	1,158,408	9,502,455	△1,039	11,717,292
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△457,648	—	△457,648
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,315,618	—	1,315,618
自己株式の取得	—	—	—	△61	△61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	857,969	△61	857,907
当期末残高	1,057,468	1,158,408	10,360,425	△1,101	12,575,200

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計
当期首残高	102,517	3,305	276,306	△9,881	372,247
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	36,960	△5,687	△513	15,805	46,565
当期変動額合計	36,960	△5,687	△513	15,805	46,565
当期末残高	139,478	△2,382	275,793	5,924	418,812

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	330,339	12,419,879
当期変動額		
剰余金の配当	—	△457,648
親会社株主に帰属する当期純利益	—	1,315,618
自己株式の取得	—	△61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	897,763	944,329
当期変動額合計	897,763	1,802,237
当期末残高	1,228,103	14,222,116

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,565,485	1,832,340
減価償却費	1,003,104	1,053,138
のれん償却額	28,638	28,638
負ののれん発生益	—	△227,983
段階取得に係る差損益(△は益)	—	99,206
持分法による投資損益(△は益)	△8,663	△2,373
貸倒引当金の増減額(△は減少)	145	△3,606
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,390	△30,058
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△71,038	△45,543
受取利息及び受取配当金	△18,698	△19,276
支払利息	77,105	70,591
為替差損益(△は益)	25,001	91
投資有価証券評価損益(△は益)	24,874	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,963	△4,921
固定資産除却損	21,394	52,042
固定資産売却損益(△は益)	105	△345
売上債権の増減額(△は増加)	△908,113	△194,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,050	△258,796
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,124	302,513
未払消費税等の増減額(△は減少)	81,137	△83,762
その他	△240,909	302,843
小計	1,496,821	2,870,124
利息及び配当金の受取額	20,523	21,831
利息の支払額	△76,946	△70,330
法人税等の支払額	△543,952	△385,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	896,445	2,436,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△982,869	△1,541,162
有形固定資産の売却による収入	293	801
有形固定資産の除却による支出	△7,759	△5,291
無形固定資産の取得による支出	△39,080	△67,576
投資有価証券の取得による支出	△136,528	△17,844
投資有価証券の売却による収入	4,481	5,770
貸付金の回収による収入	2,634	2,181
差入保証金の差入による支出	△4,052	△4,708
差入保証金の回収による収入	365	832
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	72,605
その他	△3,822	△173,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,166,339	△1,128,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	52,514	1,123,955
長期借入れによる収入	700,000	729,000
長期借入金の返済による支出	△835,641	△849,592
リース債務の返済による支出	△40,558	△67,520
セール・アンド・リースバックによる収入	404,786	—
自己株式の取得による支出	△69	△61
配当金の支払額	△461,707	△457,440
非支配株主への配当金の支払額	△720	△720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,395	477,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,545	△20,746
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△472,834	1,164,744
現金及び現金同等物の期首残高	3,015,479	2,542,645
現金及び現金同等物の期末残高	2,542,645	3,707,389

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間に設立したNAKAMOTO PACKS VIETNAM COMPANY LIMITEDについて、第2四半期連結会計期間に出資が完了したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、第2四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社の株式を追加取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、三国紙工株式会社の株式を追加取得し連結の範囲に含めたため、持分法適用の範囲から除外しております。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期に関して不確実性が高い事象であると考えております。

本件が当社グループの業績に与える影響は、当初、2020年夏頃まで続くと仮定しておりましたが、終息時期は未だ予測することが出来ない状況にあるため、2021年末頃まで続くと仮定に変更し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

当社グループは、印刷関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載をしておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	1,479.33円	1,590.02円
1株当たり当期純利益	132.84円	160.99円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,085,637	1,315,618
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,085,637	1,315,618
普通株式の期中平均株式数(株)	8,172,298	8,172,276

(重要な後発事象)

該当事項はありません。